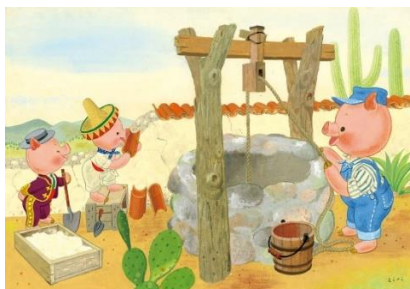
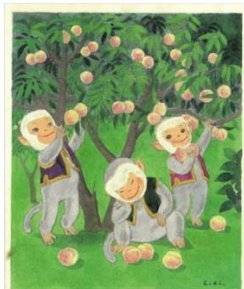


キャラクターデザインの先駆者

ひじかたしげみ

土方重巳の世界

ブーフーウーと仲間たち



左:NHK 放送『ヤンボウ ニンボウ トンボウ』2 原画 (1955 年 宝文館) 中央:「さんびきのこぶたのものがたり ぶーふーうー」原画 (『別冊キンダーブック』1960 年 フレーベル館) 右:「サトちゃん」原画 (1959 年) すべて NPO 法人 古き良き文化を継承する会蔵

1 開催趣旨

土方重巳は、1915 (大正 4) 年に兵庫県に生まれました。戦前、戦中、戦後はグラフィックデザイナーとして活躍し、1949 (昭和 24) 年、劇作家で作家の飯沢匡と出会ってからは、子どもに向けた仕事に取り組みました。「きれいでキチンとしたものを、子ども達の心に植えつけたい」という飯沢の信念に共感し、この名コンビは数々の魅力的なキャラクターを生み出します。絵本版『ヤンボウ ニンボウ トンボウ』や、NHK テレビ「おかあさんといっしょ」の人気人形劇「ブーフーウー」は、多くの子ども達を魅了しました。1952 年からはじまり、土方がデザインを担当した人形絵本シリーズは国境を越えて、アメリカ、フランス、ドイツなど世界 78 ヶ国、15 ヶ国語で 80 種類が出版されたといいます。また、土方は今も愛されている佐藤製菓のキャラクター「サトちゃん」の生みの親であり、飯沢匡とともにアサヒビールやミツワ石鹸の人形アニメーション CM をつくるなど、企業広告の分野にも足跡を残しました。

本展では、土方が東宝で戦前戦中に手がけた名作映画や文化映画のポスター、戦後フリーのデザイナーとして手がけたバレエやオペラの公演ポスター、チラシも多数ご紹介します。貴重な原画やポスター、グッズ、映像などで、土方の多彩な仕事をたどります。

2 会期

令和 5 (2023) 年 2 月 11 日 (土・祝) ～4 月 9 日 (日)

休館日: 3 月 6 日 (月)、4 月 3 日 (月) ※無料観覧日: 2 月 12 日 (日)

3 観覧料

一般 1,000 (800) 円、高大・65 歳以上 800 (640) 円、中学生以下無料 ※ () 内は 20 名以上の団体料金

4 関連事業

講演会、学芸員によるギャラリートーク

5 主催等

主催=横須賀美術館 企画協力=NPO 法人 古き良き文化を継承する会

特別協賛=佐藤製菓株式会社

協賛=アサヒビール株式会社、花王株式会社、株式会社大丸松坂屋百貨店、ヤマハ株式会社

お問い合わせ 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居 4-1

○ホームページ: <https://www.yokosuka-moa.jp> e-mail:kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関すること 総務係: 八島、伊賀 電話 046-845-1211

○展示内容に関すること 担当学芸員: 立浪、杳沢 電話 046-845-1212

●見どころ1

土方重巳のすべてがわかる。関東初の大回顧展。

土方重巳の仕事は、大きく二つに分けることができます。

一つは、1938年に東宝映画株式会社に入社して以来、グラフィックデザイナーとして手がけた映画や舞台公演のポスター、チラシ、パンフレット群。とくに戦前の映画ポスターが、原画と共に残っていることは稀で、本展ではこの貴重な原画も併せてご紹介します。

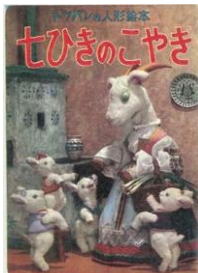
もう一つは、1949年以降、飯沢匡との出会いによって取り組むようになった子ども向けの仕事や企業の人形アニメーションCMなど。かわい名キャラクター達を、原画、映像、グッズなどでふり返ります。本展は、土方重巳の全てを知ることがでる、関東初の大回顧展です。

下左:「エノケンの法界坊」(1938年 東宝) 下右:「馬」(1941年 東宝)



●見どころ2

初公開原画を多数ご紹介！子ども達を虜にした可愛いキャラクターの数々。



左:「さんびきのこぶたのものがたり ぶーふうー」原画(『別冊キンダーブック』1960年 フレーベル館)
中:『七ひきのこやぎ』(1957年 凸版印刷)
右:『七ひきのこやぎ』下絵(1957年 凸版印刷)

1959年から放送がはじまったNHKテレビ「おかあさんといっしょ」。その人気に一役買ったのは、土方がデザインした人形が登場する人形劇「ブーフーウー」(1960-67年)でした。その後、同番組内では、「ダットくん」や「とんでけブッチー」など数々の名キャラクターが誕生します。本展では、これまで紹介されることのなかったNHKテレビ番組の関連原画を初公開します。

他にも、多くの子ども達に愛された「人形絵本」のためのデザイン画も多数展示し、土方作品の国境を越えた魅力をご紹介します。

●見どころ3

原画でたどる、企業キャラクター誕生の瞬間。



「サトちゃん」人形
(1960年代、佐藤製薬)

「サトちゃん」原画
(1959年)



土方重巳は、今も愛される佐藤製薬のキャラクター「サトちゃん」の生みの親です。他にも、アサヒビール「ほろにがくん」などの企業キャラクターのデザインを手がけ、そのキャラクターが登場する人形アニメーションCMを、飯沢匡や人形作家の川本喜八郎らと作りました。企業広告、誕生間もないテレビCMの世界での活躍ぶりも、土方の活躍を語る上で忘れることができません。会場には、大小さまざまなサトちゃんを紹介するサトちゃんワールドも出現。お楽しみに。

作品資料はすべてNPO法人 古き良き文化を継承する会蔵



「ほろにが君」人形
(制作 川本喜八郎
1950年代)

100字概要

佐藤製薬の「サトちゃん」やNHKの子ども向け番組で大人気だった人形劇「ブーフーウー」など、名キャラクターの生みの親であるデザイナー・土方重巳(1915-1986)。全貌を紹介する関東初の回顧展。

○図版の使用等について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

- ・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。
- ・作品画像は全図で使用してください。
トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。
- ・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。
- ・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。
- ・WEBに掲載する場合は、解像度 72dpi 以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。
- ・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。
- ・その他、著作権により使用制約がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。
- ・原稿は掲載前に必ず当館「総務係」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。
- ・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「総務係」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。
- ・掲載誌（紙）、媒体（DVD など）、URL などを「総務係」あてに 1 部以上お送りください。

○プレゼント用招待券について

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を 20 枚（10 組 20 名様分）までご提供します。ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

○交通のご案内

■電車をご利用の場合

*京急線「馬堀海岸」駅もしくは JR「横須賀」駅から
観音崎行バス「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」
下車徒歩 2 分

*京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」
下車徒歩 5 分

■車をご利用の場合

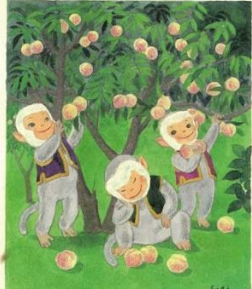
*横浜横須賀道路馬堀海岸 I.C. から約 3km（約 5 分）



キャラクターデザインの先駆者
土方重巳の世界
ブーフォーウーと仲間たち
掲載図版／チケットプレゼント申込書

FAX : 046-845-1215 横須賀美術館行き

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア 10 組分／20 枚）をご希望の方、下記へご記入の上 FAX にてご請求ください。必要な図版に☑をつけてください。

			
☐ 「馬」ポスター （1941 年 東宝） 75×52.5 cm	☐ NHK 放送『ヤンボウニンボウトンボウ』2 原画 （1955 年 宝文館） 水彩、インク・紙 20×16 cm	☐ 「さんびきのこぶたのものがたり ぶーふうー」原画 （『別冊キンダーブック』1960 年 フレーベル館） 水彩・紙 30.8×42.1 cm	☐ 『ねずみとおうさま』装幀原画（部分）（1953 年 岩波のこどもの本 岩波書店）水彩、インク・紙 20.7×33.5 cm（部分）
			
☐ 『七ひきのこやぎ』下絵 （1957 年 凸版印刷） 鉛筆、インク・紙 20.1×20.5 cm	☐ 「サトちゃん」人形（1960 年代、佐藤製菓） ☐ 「サトちゃん」原画（1959 年） 鉛筆・トレーシングペーパー 16×15 cm	☐ 土方重巳（1915-1986） ※プロフィール写真	

上記図版の所蔵はすべて「NPO 法人 古き良き文化を継承する会」と記載してください。

※「NPO 法人」は省略可

必ずご記入ください⇒ 貴社名 TEL.

貴誌（紙）名 ご担当者様お名前

メールアドレス（画像データ送付先）

ご要望事項（サイズ・解像度など）

チケットプレゼント用招待券 ☐ 希望する ☐ 希望しない

ご住所（チケット送付先）